

LinuxでいろんなWi-Fi Dongルを動くようにする方法

仙田 智史

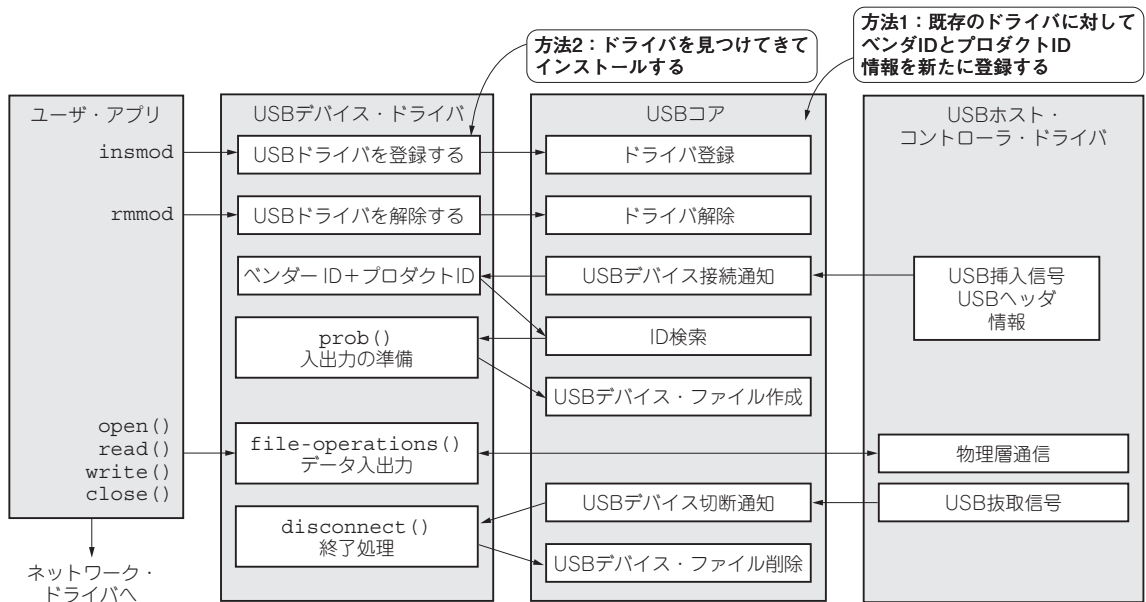


図1 Wi-Fi USB Dongルを動かす方法

前章では、ウェブでドライバを検索して、接続できそうな五つのWi-Fi USB Dongルを選んでラズベリー・パイに接続して確認を行いました。その際に、挿しただけでは動かないDongルがありました。ここではその対処法を紹介します。(編集部)

現在のLinuxでは、USBポートにデバイスを接続すると、udevサービスからusbcoreを通じて、USBデバイスのidVendor/idProductに対応したドライバがロードされるようになっています。

USBのID情報からどのUSBデバイス・ドライバをロードするかは、各USBデバイス・ドライバ自身にあらかじめ登録されているUSBのID情報を元に検索されます。

Wi-Fi USB Dongルを接続したときにOSが認識しない場合は、対応するデバイス・ドライバがインストール済みかどうかによって対応が変わってきます。

以下、二つの対処方法を示します(図1)。

方法1: USBのID情報を登録

方法2: ドライバを見つけてきてインストール

方法1: USBのID情報を登録する

対応するデバイス・ドライバそのものはインストールされていても、USBのID情報が登録されていない、というケースです。GW-USMicroN(プラネックスコミュニケーションズ)がこのケースでした(表1)。

WLI-UC-GNM(バッファロー)と同じrt2800usbドライバで動作しますが、プラネックスの方はドライバにidVendorおよびidProduct情報が登録されていませんでした。

● ドライバ・モジュールがどのUSBデバイスに対応するか確認

まず、rt2800usbのドライバ・モジュールが、どの